アジャンタ石窟寺院 後期(5世紀中半から6世紀中半)

第1窟 部屋の大きさ19m四方、うす暗い



正面に仏陀座像、天井画、柱上部に彫刻





アジャンタ石窟寺院 後期(5世紀中半から6世紀中半)

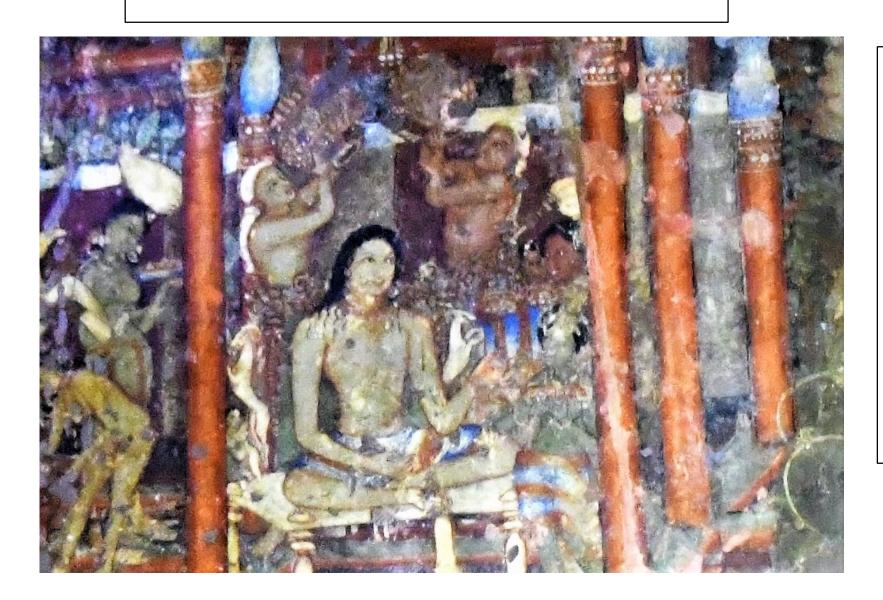
第1窟 左の壁に蓮華手菩薩(黄色のハスの花が一輪、人の身体位の大きさ)



アジャンタ壁画の 最高傑作(至宝)

法隆寺金堂菩薩像 のルーツ 右の壁には金剛手 菩薩

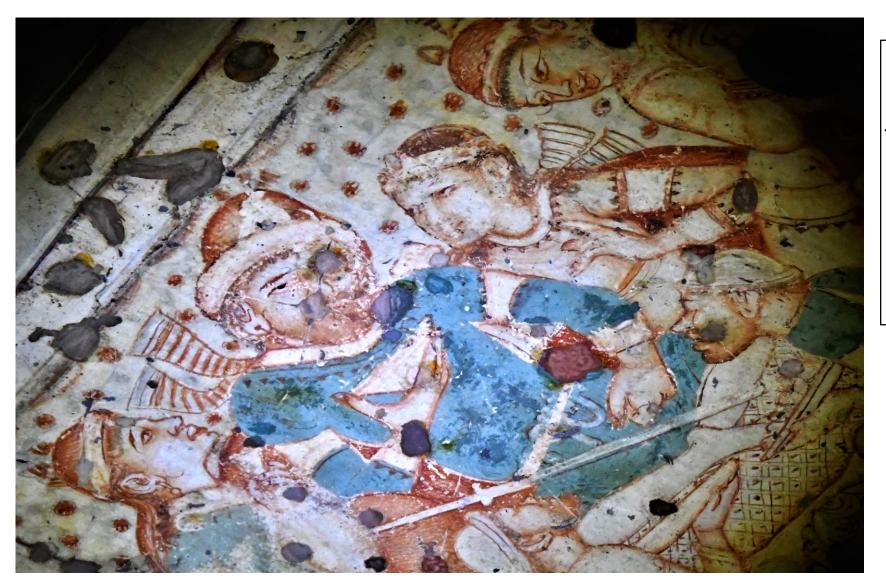
第1窟 王宮で灌頂する王



仏教の法話が天井、 壁至るところに、 描かれている。

テンペラ画;荒削 りした岩肌に石灰 で下地を整え、乾 いてから、膠や樹脂を接着剤として 描いた。

第1窟の天井画



ペルシャの使節団か、 あるいは来印したペ ルシャ商人が酒杯を 右手に、回りの5人 と語り合っている。

第16窟 エレファント・ゲート

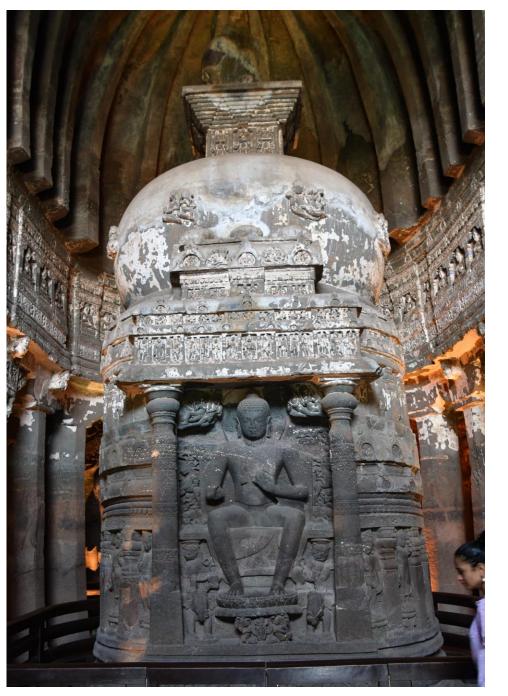
▼4な籠に乗って







ハマヌーンラングール



第26窟

後期の作で豪華、 明り取りの窓から光 が射し薄明るい。



涅槃像 約7メートル

エローラ石窟寺院

エロ-ラ石窟群は約2.5kmに渡って延びる絶壁に34の石窟が作られており、 仏教、ヒンドゥー教、ジャイナ教の石窟遺跡が混在している。世界遺産

第10,12,16,32及び33の各石窟を見学。

この遺跡の大きな特徴の一つに、破壊が極めて少ないことで、**インド宗教**の寛容性を示している。



▲ガジョマルの木

第16窟 カイラサナータ寺院



カイラサナータ寺院は シヴァ神の棲んでいる カイラス山を模して造られ ている。

巨大な岩盤を上から下に掘り下げて作った石窟寺院

幅47m奥行81m高さ33m、 全く継ぎ目はなく、 掘り出された岩の量は おおよそ50万トン。

完成まで約150年

第16窟 カイラサナータ寺院

